

仕事と生活の バランス

2025
AUTUMN
vol. 70

大切に 考え直す この休み

(2024ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズ
兵庫労働局長賞・働き方改革賞・学生の部)

わが社のWLBな人

詳しくは裏表紙へ



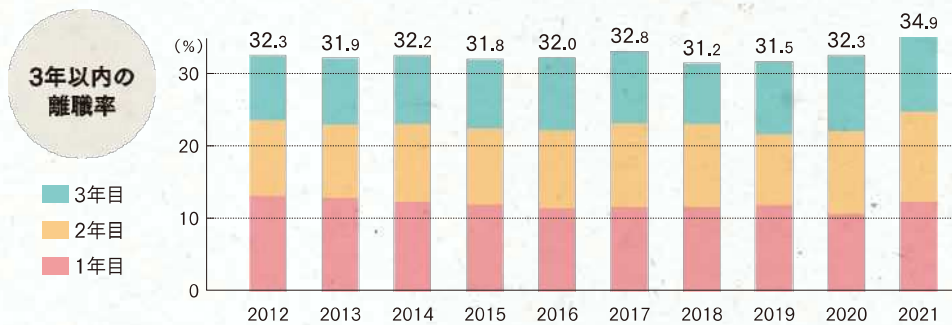
特集

職場定着の鍵 若手が活躍できる職場づくりを

4 | 兵庫型奨学金返済支援制度 5 | 表彰企業のその後
6・7 | センターからのお知らせ／県政トピックス
8 | わが社のWLBな人

職場定着の鍵 若手が活躍できる職場づくりを

厚生労働省の調査によると大卒新入社員の3割以上が3年以内に離職するなど、多くの企業にとって若手社員の職場定着が課題となっています。早期離職を防止し定着率を上げるための鍵は、若手社員が活躍できる職場づくり。仕事と生活のバランス表彰企業の取り組みを紹介します。



社内コミュニケーションの活性化

CASE

【2013年度表彰企業】

日高食品工業株式会社（姫路市）

昆布や海藻を加工・販売する老舗企業の一日は、三十数人の全社員が参加する朝礼で始まります。ユニークなのは、20分の大半を「ありがとう」をテーマにした発表に割いていること。5人程度のグループに分かれ、必ず全員が発言します。

「メンバーは週ごとに年齢や部署に関係なくシャッフルされるので、普段業務で関わりの少ない人とも会話が生まれますし、お互いの業務を理解する機会にもなっています」と、管理部の山本ひかるさん。数年前に全社員を前にしての発表から、初めと終わり以外は少人数制へと変更したことで話しやすい雰囲気が醸成され、最近ではプライベートな話題もよく飛び出し、話題の増加がコミュニケーションの活性化に拍車をかけているといいます。「人とつながると話しかけやすいですし、仕事のしやすさにもつながっています」と、入社9年目の木蜜菜里さんは笑顔を見せます。



恒例のサマーパーティーには社員の家族も参加。

「最初は『ありがとう』のエピソードをなんとかひねり出すという感じでしたが、毎日続けていると仕事にいろいろなことに気付けるように

朝礼は営業など本社外にいる社員も参加できるよう、ウェブ会議システムを活用しています。



なり、今ではどれを発表しようか迷うくらいです」と話す入社8年目の幸幹太さんも、朝礼をポジティブに捉えている一人。業績アップ委員会の委員長として各部署を巻き込んで改善活動を展開した際に、他部署の年上の社員たちの反応がうれしかったといいます。「朝礼で普段から話をしているおかげでみんなが聞き入れてくれる体制が整っているので、安心してお願いできましたし、実際、快く協力してもらえました」



右上から時計回りに、管理部部長の永井輝樹さん、山本さん、木蜜さん、幸さん。

河崎廣信社長の「みんなが伸び伸び、生き生きと働ける会社になりたい」という意向で社内コミュニケーションを重視し、職場の交流促進に取り組んできた同社。朝礼をはじめ、部署の決起集会や若手の食事会など数々の積み重ねにより浸透させてきた互いを尊重する社風は、若手社員たちが安心して新しいことに挑戦できる土壌となり、成長を支えています。

2

CASE

社員の声を経営に生かす仕組みづくり

【2021年度表彰企業】

株式会社香山組（尼崎市）

土木工事を主に手がける同社では、若手社員の意見を経営に生かすべく、20代の社員で構成される若手会議を月1回開催しています。各自が業務改善のアイデアを持ち寄り協議するもので、今年は13人で構成。結果をまとめた議事録はオンライン上で上長や役員に共有され、経営側の意見がフィードバックされます。

「若手だけでは判断が難しいことが多く、上層部が助言したり優先順位を示したりすることで、スピード感をもって進めることができます」と説明するのは、同会議の元メンバーで、現在は工事部次長として見守る立場になった笹尾彰宏さんです。ひとたびゴーサインが出ると、メンバー自身が導入に向けた実務も担当し、現在は11のプロジェクトを同時進行させています。

例えば、紙ベースだった安全記録書類を電子化した際は、入社3年目の丸山彩夏さんが複数社のソフトを試用し比較検討する作業を担当。「時間やお金など費用対効果をどう判断すればいいか、勉強になりました」と話します。一方、マニュアル作成に携わった同期入社した松本希路さん



若手会議の勉強会では笹尾さんが講師としてレクチャーすることも。

は、「上席に説明する機会を何度も持つことで、現場でも自分の意見を言えるようになりました」と、仕事面での成長にもつながっているといいます。

また、若手社員は採用活動でも活躍中。合同説明会での会社説明や質疑応答を担うほか、インターン生に現場を案内するなど月1回程度活動しています。「どうすれば相手に伝わりやすいかと説明を工夫したりしています」と松本さん。若い感性を経営に取り入れつつ、人材育成につなげる好循環が生まれています。



工事部に所属する3人。左から、松本さん、丸山さん、笹尾さん。

3

CASE

責任ある仕事を積極的に任せる人材育成

【2021年度表彰企業】

ハートスフードクリエイツ株式会社（神戸市）

学校や福祉施設などでの給食事業を展開する同社では、資格や調理経験は不問とし、本人のやる気や描く将来像を重視した採用活動を行っています。入社後は、本人がやりたいことを実現できるよう、キャリアに関係なく積極的に責任ある仕事を任せています。

5年前に飲食業から転職した金子紗里奈さんは、入社1年目の秋に幼稚園の給食施設長に就任。3人のスタッフと毎日280人分を調理する一方で、初挑戦ながらも献立作りや食材の仕入れなどをこなしました。「栄養士の資格を持っていませんし、やるが多すぎて不安でしたが、旬の食材を使いたい、見た目をかわいくしたいなど自分のやりたいようにできるので、大変さよりも楽しさが勝っていました」と笑顔を見せます。仕事ぶりが評価され、昨年には求食事業部のリーダーに、さらに今年は異例の若さで主任に抜てきされ、慌ただしい中にもやりがいを感じながら働いています。



和食を中心とした金子さんの給食は幼稚園から好評です。

一方、会社にとっては当然リスクもある若手の登用。同社では新入社員を現場責任者がマンツーマンで指導してきましたが、今年から若手を含む複数の社員が関わりながら育成するシスター制度に変更しました。「1対1だと相性などの問題もあるためみんな

で育てていく形式にしたところ、昨年は夏には半数が辞めていた新入社員が、今年は全員残っています」と、人事総務部主任の大石唯さんは効果を実感しているそうです。



金子さん（左）、大石さん。

人財投資は未来への投資。奨学金返済支援で“選ばれる企業”に！

兵庫県における20歳代の転出超過は令和に入って毎年8,000人前後で推移しています。地域の活力を維持・向上するためには、若者の県外転出を食い止めることが喫緊の課題です。こうしたことも背景に、県では若者・Z世代応援パッケージを推進しており、その目玉プロジェクトの一つが兵庫型奨学金返済支援制度です。

兵庫型奨学金返済支援制度は“三方よし”の制度！

学生

日本学生支援機構の2022年度学生生活調査によると、昼間部の大学学部生の55.0%、短期大学生の61.5%が奨学金を利用しています。また、県労政福祉課の2023年度制度導入企業従業員アンケートによると、奨学金借入総額の平均は314万円で、大学卒業後に総額300万円以上の奨学金を約14年かけて返済しているケースも少なくありません。それを企業と県が負担する同制度は、大きなメリットがあります。

企業

同制度は、学生にとって企業選びの大きな魅力となります。直近の調査で、学生が就職活動における「企業選びで重視するポイント（優先事項）」は、働きやすさ82%、給与・待遇78%、福利厚生の充実55%などです（就職みらい研究所「就職白書2025」）。このような背景からも、企業にとって新しい福利厚生ともいえる同制度は、優秀な人財の確保と定着に大きく貢献する可能性を秘めています。“選ばれる企業”を目指し、制度導入を検討してはいかがでしょうか。

行政

行政（県）は、1社でも多くの企業に制度を導入してもらうことで、若者の県内就職を促進し、彼らの活躍により県民一人一人が自分らしく幸せに暮らせる兵庫の実現を目指しています。

兵庫型奨学金返済支援制度の概要

支給対象

- 企業 県内に本社がある中小企業等
従業員 対象企業に勤務し以下を満たす人
- ・日本学生支援機構の奨学金を受給し返済義務がある
 - ・県内の事業所※に勤務する40歳未満の正社員
- ※または京都府内に本社がある事業所

補助額

年間返済額のうち、県が2/3（上限12万円）を、企業が1/3を負担

県と企業の負担イメージ	年間返済額18万円	
	6万円 （企業の実質負担額）	12万円 （県負担：企業補助6万円、従業員補助6万円）

補助期間

対象者1人につき最大17年間
（企業の県認定制度取得状況により期間が異なる）

期間	補助総額	対象企業（県認定企業はいずれか2つが該当）
5年	90万円 （県60万円）	県内に本社がある中小企業
10年	180万円 （県120万円）	SDGs宣言企業 フレッシュミモザ企業※ ミモザ企業 ワーク・ライフ・バランス宣言企業
17年	306万円 （県204万円）	SDGs認証企業 ミモザ企業 ワーク・ライフ・バランス認定企業 ワーク・ライフ・バランス表彰企業

※フレッシュミモザ企業の認定期間は最大3年間のため、ミモザ企業にステップアップすることが前提

例：ミモザ企業（ステップアップ実現）+WLB宣言企業＝10年間の補助が可能
ミモザ企業+WLB認定企業（ステップアップ実現）＝17年間の補助が可能

詳しくは
こちら



ホームページ



FaceBook

問い合わせ：一般社団法人兵庫県雇用開発協会 TEL078-362-6583

表彰企業のその後

【2019年表彰企業】

株式会社イーエスプランニング(神戸市)

積極的に制度を取り入れ みんなが働きやすい会社へ

駐車場経営や不動産事業を展開しているイーエスプランニング。同社のワーク・ライフ・バランス(WLB)の取り組みについて、中心となって進めてきた総務担当の岩井華奈さんに伺いました。

— WLBに取り組み始めたきっかけは。

事業が一気に拡大する中、優秀な人材を採用したい、離職しないようにしたいけれどもどう取り組めばいいのかわからないという状況だったため、まず2016年にWLB推進企業宣言に登録しました。ひょうご仕事と生活センターからコンサルタントを派遣いただき、代表の藤岡を含め毎月打ち合わせをしたほか、働きやすい会社にしていくために社員全員で話し合い、「やる気を出せるような仕組みにする」など5項目をピックアップ。それらを基に就業規則を見直し、



住宅や車両、資格取得、奨学金返済など、さまざまな補助制度を設けました。また、キャリアプランを立てやすいよう評価賃金ハンドブックを作成したり、全員の得意・不得意を一覧にしたものを参考に業務を割り振るようにしたりと、それぞれが力を発揮しやすい環境へと整えていきました。



毎月多様なテーマで行う2時間の全社研修をはじめ、必要に応じてさまざまな研修を実施。

— 取り組みから3年後には表彰企業となりました。

WLB表彰企業を目指したことを機に評価制度の確立に着手し、現在も引き続きそのバージョンアップや業務効率改善のための制度づくりに引き続き取り組んでいます。また、現在は研修制度の充実も図っており、社外研修の活用や資格の取得支援など社員の成長を促す仕組みを増やしているところです。

— 表彰を受けて変化はありましたか。

特に実感するのは採用時です。学生からの反応は良く、公的機関から認定を受けたことは本人のみならずその家族の安心感や信頼にもつながるようです。また、兵庫型奨学金返済支援制度を、創設時の2017年度から導入しているのですが、23年にミモザ企業の認定も取得したことで補助期間を最長17年間に延長できるようになりました。表彰を受けた後も、ワントップ型から権限移譲を進めてリーダーを中心としたチーム体制へと転換を図る中で、会議の在り方を見直すなど改善を続けてきました。現在は親の介護や子どもの急な病気の時などを想定して一部の人に負荷がかかりすぎない体制づくりを目指すなど、働き方のさらなる見直しを進めているところです。



社員の声

不動産管理チームマネージメントリーダー
藤澤達也さん

**明確な評価基準は
やりがいにつながっています**



さまざまな制度が導入され、いい会社になってきたと実感しています。明確な評価基準があることで、どのようなスキルを求めているのか、チームメンバーに具体的に言いやすいですし、自分自身も頑張ったことに対してしっかり評価される点がやりがいにつながっています。また、奨学金返済補助期間が延長されたことで、入社6年目に終わっていた補助が昨年からは復活し、再び満額の18万円を受け取れるようになりました。総額で車1台分に相当する額ですから、本当にありがたいです。

経営企画ラボ チーフ
高嶋理子さん

**入社のきっかけは
奨学金支援制度でした**



就職活動中に大学から送られてきた奨学金支援制度の導入企業一覧に見たことのあるロゴがあり、ホームページを開いてみると「神戸で働きたい」「地域貢献をしたい」という私の希望と一致していたことから、会社説明会に参加。話を聞き、ここで働きたいと思ったのが弊社でした。制度を導入していなければ、会社の存在自体、知ることはなかったと思います。入社して特によかったのは、充実した研修制度。受けた講座を提案することもよくあり、得た知識を業務に生かしています。

センターからのお知らせ

ワーク・ライフ・バランスフェスタ～不妊治療と仕事の両立支援フォーラム～

参加無料

12月1日(月) 13:00～15:30

【会場】兵庫県中央労働センター大ホール 【定員】先着150人

①表彰式・修了式

- ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰式 ● ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズ表彰式
- キーパーソン養成講座修了式

②基調講演「多様な人材が活躍する人的資本経営」(仮)



【講師】庭本 佳子 氏(神戸大学大学院経営学研究科 准教授)

京都大学法学部卒業。神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了、博士(経営学)。摂南大学経営学部講師を経て、2017年から現職。株式会社インソース社外取締役。専門は人的資源管理論、組織能力論。

③パネルディスカッション「不妊治療と仕事の両立支援の取組」

- ・ファシリテーター：庭本 佳子 氏
- ・不妊・不育症当事者団体：NPO法人 Fine 理事長 野曾原 誉枝 氏
- ・企業：アスカカンパニー株式会社【WLB表彰企業】

ワーク・ライフ・バランス地域セミナー・シンポジウム

参加無料

姫路地域

10月16日(木) 14:00～15:45



「多様性推進の現状と自律的キャリア形成」

【会場】姫路商工会議所 新館2階 201研修室

【定員】会場70人+Web定員なし

【講師】神崎 夕紀 氏(株式会社ダイフク社外取締役、東洋紡株式会社社外取締役)

大学院修了後パイオ企業を経てビール会社入社。醸造部門で初の女性醸造長に就任。研究所勤務後、神戸工場長に就任し、業界初の女性工場長として注目される。執行役員を経て退社。現在、素材会社等2社の社外取締役。



詳細は
こちらから

神戸地域

10月29日(水) 14:00～16:10



「若手を育て活かす上司力® ～若手が成長実感できる職場の創り方～」

【会場】兵庫県私学会館 2階大会議室

【定員】先着160人

【講師】前川 孝雄 氏(株式会社FeelWorks代表取締役、青山学院大学兼任講師)

人を育て活かす「上司力®」提唱の第一人者。リクルートで「リクナビ」「ケイコとマナブ」などの編集長を経て2008年に株式会社FeelWorks創業。「日本の上司を元気にする」をビジョンに掲げ、研修事業と出版事業を営む。



詳細は
こちらから

阪神地域

11月5日(水) 14:00～16:00



「人材確保と地元企業の戦略的な取組～WLB宣言・認定・表彰など制度活用のメリット～」

【会場】尼崎商工会議所 701会議室

【定員】先着100人

【講師】山下 紗矢佳 氏(武庫川女子大学経営学部経営学科准教授)

専門分野は中小企業の多様性・採用など。兵庫県内を中心に行政、経済団体、産学連携等の社会貢献活動に取り組む。兵庫県中小企業家同友会LINC(産学公連携推進本部)アドバイザー、ひょうご経済・雇用戦略推進会議構成員等を歴任。

事例発表：不二電気工事株式会社【WLB表彰企業】、松谷化学工業株式会社【WLB表彰企業】、大日化工株式会社【WLB認定企業】



詳細は
こちらから

～おかげさまで制度創設50周年～

安心・安定の福利厚生制度「ひょうごファミリーパック」のご案内

兵庫県では、中小企業を対象とした地域密着型の福利厚生制度「ひょうごファミリーパック」を提供しています。ニーズの高い「健康管理」「福利厚生」「給付」「融資斡旋」の4分野を全てカバーし、1社単独では導入困難な大企業並みの福利厚生を代行し、元気の職場を応援します。

法人企業だけでなく、小売商等の個人事業所、医療・福祉施設、各種団体も加入いただけます。ぜひご活用ください。

中小企業経営者の皆様へ



……経営者の方にも社員さんにも嬉しいメニューが！……

- インフルエンザ予防接種補助(最大3,000円/人) **配偶者も!**
- 人間ドック補助(最大20,000円/人) **配偶者も!**
- パート・アルバイトさんの会費1/2助成(3年間 最大9,000円/人)
- 勤続報奨金など12種類の給付金を支給
- 提携施設で使える利用券26,500円分
(内、食事券等最大6,000円)

ひょうごファミリーパック

(公財) 兵庫県労務福祉協会 共済部
〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3-28
TEL078-351-6786 FAX078-341-1520

外国人雇用HYOGOサポートデスクの活用を **相談無料**

外国人に関する企業のさまざまな疑問やお悩みにお応えします!

◆専門知識を持つ相談員が相談に応じます。

- 〈相談例〉・外国人の採用に当たって何から始めたらいい?
- ・在留資格の変更など入管手続きの方法は?
 - ・採用可能な職種や業種は?在留資格との関係は?
 - ・「技能実習」や「特定技能」はどんな制度?

◆必要に応じて行政書士会や社会保険労務士会など専門機関を案内します(相談は1回まで無料)

問い合わせ先: 外国人雇用HYOGOサポートデスク (ひょうご・しごと情報広場内)

TEL 078-366-1431 E-mail gaikokujin-koyo@j-hiroba.jp

ワーク・ライフ・バランス
関連書籍紹介

ひょうご労働図書館(兵庫県中央労働センター1階)は、労働関連の図書・資料のほか、専門書を中心に幅広いニーズに対応する"みんなの図書館"です。お気軽にご利用ください。TEL078-367-3895

ひょうご労働図書館 検索

「ドイツ人のすごい働き方
日本の3倍休んで成果は1.5倍の秘密」 (2024年9月発行)

第2次世界大戦で共に敗戦国となり、同じく製造業の発展で経済復興を果たし主要国の仲間入りをしたドイツに対し、ある種のシンパシーを感じる日本人は結構いるのではないのでしょうか。しかし、労働条件や労働観といった、いわば「経済成長の中身」を見ると、全く異なるようです。

ワーク・ライフ・バランス(WLB)についても、ドイツでは重要な政策課題と位置付けられており、この点も日本と共通しますが、そもそもWLBに対する発想が異なります。答えは本書の中にあるので、ぜひ手に取って確認してみてください。

著者:西村栄基 発行:すばる舎



わが社のWLBな人

シンボルキャラクター「WLB7」のテーマに沿ってワーク・ライフ・バランス（WLB）に取り組む方々をFacebook、Instagramで紹介しています。

2025年4月～6月に取り上げた人を紹介します。



WLB7

はぐペン（ペンギン）…夫婦共働きで協力しながら子育て
ケアモン（さる）…親の介護を行いながら職務に励む
テレくま（くま）…テレワークを利用して在宅勤務
キーライオン（ライオン）…社内におけるWLBのキーパーソン
アクティビー（みつぶち）…女性社員のリーダーで初の女性役員候補
ヤルぞう（ぞう）…再雇用制度を利用するベテラン
フレグ（カエル）…フレックスタイムを利用

【2024年度認定企業】

株式会社エムアンドエー（伊丹市） 中岡さん〔表紙写真：左〕



キーライオン
（キーパーソン）

2024年度のキーパーソン養成講座に参加した中岡さんは、講座で学んだことを生かしながら、現場とコーポレート部門が最適な形で業務分担できる仕組みづくりを少しずつ進めています。講座の中で特に役立ったと感じているのが、宿題として出された「社員たちへのヒアリング」。実際に詳しく話を聞く機会を持つと、自分の想定していた

ことと現場のニーズの間にはいろいろとギャップのあることが見えてきたそうです。「一つ一つは小さいことでも、私たち間接部門のサポートが必要があると気付かされました。大きな改革に挑もうとしている会社で、その原動力となる現場スタッフたちの声にこれからもしっかりと耳を傾け続けていきます」と意気込んでいます。（2025年4月）

【2017年度認定企業】

日本ロード・メンテナンス株式会社（神戸市） 山地さん〔表紙写真：中〕



キーライオン
（キーパーソン）

道路維持・路面清掃業を行う同社。山地さんは、朗らかな笑顔で周囲を明るくするムードメーカーです。小中高で勉強に付いていけないことがあり、知的障害の療育手帳を受け、ハローワークの障害者就職面接会を経て、同社に入社しました。昨年、亀田慎司社長が山地さんの誠実に仕事に取り組み、積極的に多能職に挑戦する姿を見てチームリーダーに抜てきしました。「夏は暑く、冬は寒い。苦勞

はあるけれど、道路がきれいになり、完成した時はうれしい」と語る山地さん。チームリーダーになってからは、水分補給などメンバーの体調管理に気を配り、元気がない後輩には「こつこつと取り組んでいけば、いずれできるようになるよ」と励ましています。同社は今年久しぶりに障害者就職面接会に参加する予定で、「多様な人が活躍できる会社なので、ぜひエントリーしてほしい」と話しています。（2025年5月）

【2024年度認定企業】

神戸鋳金工業株式会社（高砂市） 小倉さん〔表紙写真：右〕



はぐベン
（子育て）

妻の負担や不安を減らしたい一心で同社高砂工場勤務の男性社員で初めて1週間以上の育休を取得した小倉さん。20日間の育休中は1日のスケジュールや家事にかかる時間を把握できていなくて慌てることもあったそうですが、そんな経験を通して妻への感謝が以前にも増したそう。「他の社員もぜひ取得して奥さんと一緒に子

どもの成長を感じてほしいです。この時期の子どもと過ごせるのは一生で1回しかありませんから!」と話します。「上長や同僚も育休取得を快く受け入れてくれるので、安心して休むことができますよ」と後進たちに向けた心強いコメントを頂きました。（2025年6月）

センターの主な事業

- ワンストップ相談 ● コーディネーター、コンサルタントの派遣 ● 外部専門家による研修・実践支援
- テレワークサポートセンター ● 自己診断システム ● 中小企業従業員意識調査 ● 企業助成

公益財団法人 兵庫県労働福祉協会 ひょうご仕事と生活センター

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6-3-28 兵庫県中央労働センター1階
TEL 078-381-5277 FAX 078-381-5288 E-mail info@hyogo-wlb.jp
開館 月～金曜 9:00～17:00（祝休日、年末・年始を除く）

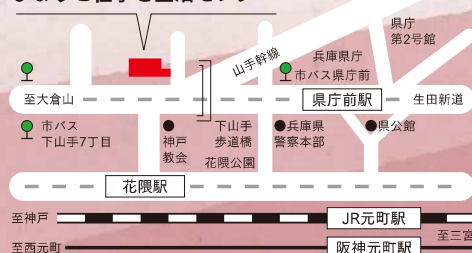
阪神事務所
〒660-0881 尼崎市昭和通2-6-68
尼崎市中小企業センタービル6階
TEL 06-6481-1888

姫路事務所
〒670-0947 姫路市北条1-98
兵庫県立姫路労働会館1階
TEL 079-288-2603

携帯、
タブレットから
アクセスできます



兵庫県中央労働センター1階 ひょうご仕事と生活センター



- 神戸市営地下鉄「県庁前」駅西出口③から西へ徒歩7分
- 神戸高速鉄道「花隈」駅東口から北へ徒歩9分
- JR「元町」駅西口から北西へ徒歩12分
- 阪神電鉄「元町」駅西口から北西へ徒歩14分

（2025年10月発行）

<https://www.hyogo-wlb.jp/>

ひょうご仕事と生活センター

検索